



君津支部かわら版

VOL.56

令和4年6月30日発行

編集 君津支部広報委員会

発行 支部長 斉藤 孝一



『“建築と子供たち” in 君津 Vol.14』(写真提供 君津支部 田村 啓 氏)

◎ご挨拶 . . . 支部長 斉藤 孝一

◎行政から . . . 県土整備部君津土木事務所 建築宅地課長 寺西 英樹
. . . 木更津市 建築指導課長 坂上 直義
. . . 君津市 建築課長 大野 悦雄
. . . 袖ヶ浦市 都市建設部 次長(兼)都市整備課長 大野 博之
. . . 富津市 都市政策課長 義崎 哲也

◎“建築と子供たち” in 君津 Vol.14・取り組みの歩み
. . . 女性委員長 津田 信代
. . . 鋸南支部(元君津支部) 金光 朝子

◎“建築と子供たち” Vol.14
. . . 青年委員 富永 麻里

◎編集後記 . . . 広報委員 白鳥 結紀



◎ご挨拶

千葉県建築士会君津支部 支部長 齊藤 孝一

向夏の候、会員の皆様におかれましては、日頃より建築士会活動にご協力をいただきまして有難う御座います。また、各行政の皆様、各友好団体の皆様には、平素より当支部の育成発展に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、5月21日（土）君津支部総会が開かれました。ご出席いただきました会員の皆様におかれましてはご多用のところご出席くださいます心よりお礼申し上げます。議題に関しては承認されましたが、その中で皆様からのご意見ご要望をいただいた次第です。今後役員で検討、そして幹事の皆様と会議にて話し合いを行っていく考えています。

また、総会後の懇親会については、非常に残念ながら会員のみの開催となり、数年前に行われていた御来賓をお招きしての懇親会開催とはなりませんでした。現在、世の中が少しずつではありますが、通常の状態に戻りつつある様にありますので、建築士会の行事等も、世の中の状況に合わせていきながら段階的に今まで通りに戻す事が出来ればと感じています。来年こそは通常通りの総会、懇親会に戻る事が出来る事、節に願うばかりです。

話は変わりますが、ただ今君津支部会員数 108 名（5月21日現在）です。会員の平均年齢が上昇傾向にある状況ではありますが、近年 20～30 歳代と若い方々が入会してくださっています。青年委員会も活発な活動になりつつあるように感じています。そして、今後皆様へ青年委員会、女性委員会等より多くの見学会など、他行事含めてご案内をお知らせできる事と予想されます。その際にはどうぞ奮ってご参加くださいます様お願いいたします。多くの会員の皆様とお会い出来る事を楽しみにしています。

最後に、新年度も始まりました。これからも役員一丸となり伝統ある君津支部を盛り上げていく意気込みです。また、皆様へはご健康とさらなるご活躍をお祈りしております。そして素敵な年度になりますように願います。有難うございます。



◎行政から

県土整備部君津土木事務所 建築宅地課長 寺西 英樹

千葉県建築士会君津支部会員の皆様におかれましては、日頃より当課の建築・開発行政にご理解・ご協力を頂き、誠にありがとうございます。

新型コロナウイルスについては、3年目となり感染者は減ってきておりますが、私も保健所応援などしているところまで、まだ終息が見えていない状況です。一方、国際情勢としては、ウクライナ侵攻中のロシアへの経済制裁などによる原油などの価格上昇もあり、日常生活だけでなく建築業界においても厳しい状況が続いております。このようななかでも、皆様には令和元年房総半島台風により被害を受けた家屋等の修繕にご協力をいただき、感謝申し上げます。

さて、この4月の定期人事異動により当課の建築担当では、小出副主幹が再任用満了となり県を退職後、君津市建築課に配属され、新たに山田主査が教育委員会教育施設課より当課に配属され、臨時的任用職員だった金子技師については一般職員の主査として引き続き業務にあたっており、私寺西は山武土木事務所から参りまして前任の泉水から引き継いだところです。今年度は、この新たなメンバーで業務を進めてまいりますので宜しくお願いいたします。

結びとしまして、千葉県建築士会君津支部の皆様におかれましては、冒頭に申し上げましたように厳しい状況の中ですが、業務に邁進していただき、コロナ禍の収束が見えてくることを祈念しまして、簡単ではございますが、私のご挨拶とさせていただきます。

木更津市 建築指導課長 坂上 直義

千葉県建築士会君津支部の皆様におかれましては、日頃より本市の建築行政にご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和4年4月1日付けで建築指導課長となりました坂上と申します。今年度は、建築審査係5名、建築指導係3名の総勢9名の新体制により、本市の建築行政に関する円滑な業務を行ってまいります。

さて、本市では今年度から「木造住宅耐震改修・リフォーム事業」に関する補助金の上限額を引上げ、木造住宅の耐震改修の促進を図るとともに、新たに、道路等(通学路、避難路又は緊急輸送路)に面するブロック塀等で、道路等からの高さが60cmを超え、かつ道路境界線までの水平距離以上のもので、市長が危険と判断したブロック塀等の撤去、または撤去に付随してフェンス等を設置する場合に要する費用の一部を補助することとした「木更津市危険ブロック塀等安全対策事業」を開始いたしました。

今後も安全で安心な、震災に強いまちづくりを目指してまいりますので、引き続き、千葉県建築士会君津支部の皆様方の更なるご協力をお願い申し上げますとともに、会員の皆様方の益々のご健勝、ご発展を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

君津市 建築課長 大野 悦雄

薄暑の候、千葉県建築士会君津支部の会員の皆様には、日頃より君津市の建築行政に多大なるご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

本市では、令和3年9月に市制施行50周年の節目を迎え、令和4年度からは、令和12年度を計画期間とする、本市の最上位計画「君津市総合計画」がスタートしました。

目指す将来都市像を「ひとが輝き 幸せつなぐ きみつ」とし、これを実現する一環として組織改正が行われ、「建築指導課」は「建築課」と改名し、審査指導係に住宅係を加えた新体制となりました。

審査指導係につきましては、これまでどおりの審査指導業務に加え「君津市危険ブロック塀等除却事業補助金制度」を令和4年度5月より開始しました。本市のHPや広報への掲載、危険ブロック塀の所有者の方へのフォローアップ等を実施しましたところ、多くの問い合わせをいただいております。市民の防災に対する関心の高さを実感しております。今後も引き続き地震発生時における倒壊を未然に防ぎ被害の防止に努めてまいります。

また、住宅係につきましては、市営住宅の管理業務をはじめとし、木造住宅耐震化促進、空き家バンク、中古住宅取得補助、長期優良住宅認定業務等を所管してまいります。

先人たちから受け継がれ、発展してきたこのまち「君津」を、より一層輝かせ、未来へつないでいく強い思いを持ち、本市にかかわるすべての方たちとともに、思いや知恵、可能性を結びながら、オール君津で未来を創ってまいります。

今後とも本市の建築行政を円滑に進めていくためにも会員の皆様により一層のご協力を賜るようお願い申し上げます。

結びに千葉県建築士会君津支部の益々のご発展との会員の皆様のご健勝を祈念しまして、挨拶とさせていただきます。

袖ヶ浦市 都市建設部 次長（兼）都市整備課長 大野 博之

千葉県建築士会君津支部会員の皆様には、日頃から本市の建築行政に対し、多大なるご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年度「建築士の日（7月1日）」の行事である住宅相談会を、市の耐震、空家相談

と合同開催していただきました。初回ではあったものの、開催の需要を認識しておりませんので、今後とも皆様方のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、「袖ヶ浦市耐震改修促進計画」を令和4年3月に改定を行い、新たな耐震化率の目標等を設定しました。住宅耐震化については、会員の皆様方にご尽力をいただき、令和2年12月31日時点で耐震化率90%に至りました。今回の改定では目標値を令和7年度に95%としており、より一層の普及に取り組んでまいりますので、引き続き会員の皆様方のご協力をお願い申し上げます。

最後に、貴支部のご発展と会員の皆様方の益々のご活躍をご祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

富津市 都市政策課長 義崎 哲也

夏至の候、千葉県建築士会君津支部の皆様には、日頃より富津市の建築行政にご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

令和元年房総半島台風等により住宅が被災した方を対象に実施していた、災害救助法による応急修理及び被災住宅修繕緊急事業については、建築士会の皆様のご尽力により復旧が完了し、昨年8月31日をもって終了することができました。今後も建築士会の皆様のご協力を賜りながら、市民が安心して暮らせるよう支援制度を充実させていきたいと考えています。

また、新型コロナウイルス感染拡大より2年が経過しておりますが、未だ新型コロナウイルスによる影響が懸念されております。一方、感染症対策やワクチン接種が進み、感染症拡大以前の社会活動が少しずつ再開してきたように思われます。当市においても、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、木造住宅の耐震化を進めることを目的として実施している「わが家の耐震相談会」、「木造住宅耐震診断事業」及び「木造住宅耐震改修事業及び耐震改修と併せて行うリフォーム補助事業」について、より一層の普及に取り組んでいきたいと考えています。

本年度の「わが家の耐震相談会」については、5月から年4回の開催を予定しておりますので、今後も建築物の耐震化にご協力下さるようお願いいたします。

結びに建築士会君津支部の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝を祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。



◎ “建築と子供たち” in君津 Vol.14

千葉県建築士会君津支部 女性委員長 津田 信代

平素より、建築士会及び女性委員会の活動にご協力いただきありがとうございます。

4月30日、建築と子供たち Vol.14「竪穴式住居って何？君津の山のツリーハウスで考えよう！」を開催しました。コロナ禍での開催でとても不安でしたが、今回も皆様のご協力により無事に終えることができたことに本当に感謝いたします。

次回は10月1日の開催を予定しております。再び、君津の山で子供たちの喜ぶ姿が見られることを楽しみにしております。

なお、実行委員長の金光朝子さんよりコメントをいただいておりますので、ご覧ください。



◎ “建築と子供たち” in君津 Vol.14・取り組みの歩み

千葉県建築士会鋸南支部(元君津支部) 金光 朝子

竪穴式住居って何？をタイトルに行われた“建築と子供たち” in君津 Vol.14 は、4月30日、前日の雨の中での準備のおかげか、当日は信じられないほどの晴天に恵まれ、94名の参加者の笑い声が山に響きました。

今回は、県の青年委員会の協力の申し出があり、当日の準備や片付けが驚くほどスムーズに進みました。コロナ禍での開催で不安もたくさんありましたが、無事に終了することが出来ました。

今回、君津支部広報誌の紙面をお借りして”建築と子供たち“の君津支部での取り組みの経緯を振り返ってみようと思います。

千葉県建築士会では1992年から「建築と子供たち分科会」としてワークショップを展開していましたが、2004年より「女性委員会」の事業として取り組むこととなりました。

当時、君津支部女性委員長として県の委員会に出席していたことからか、金光が引き継ぐこととなり今日に至っています。

街に似あうベンチを作ろう！から始まり、18年の月日が経ちました。4市の中学生と一緒にベンチ作りワークショップを6回開催しました。

当初は女性委員会の事業でしたが、青年委員会の協力なくしてはここまで続くことは

できませんでした。2013年、重田さんが君津に山を入手してからは、山を舞台にツリーハウス作りを展開してきました。このころから、青年委員会に加え、支部全体の事業のようになってきました。

歴代の細矢支部長、故山田支部長には、木材の提供など大変お世話になりました。斉藤孝一さんが支部長になられてからも、青年委員長時代から引き続きお世話になっています。

第15回を10月1日に開催予定しています。今現在、竪穴住居は屋根組までが終わっています。当日には、屋根の植栽をして完成させたいと思います。そして、縄文時代に思いをよせ、竪穴住居で焚火を囲みたいと夢見しています。

引き続き、みんなで力を合わせてワークショップを成功させましょう。



写真 製作中の竪穴式住居

竪穴式住居の模型

(案)

鋸南支部 金光 朝子 氏

(図面・模型)

松戸支部 蕪理 美登志 氏





写真 1. 竪穴式住居と集合写真(ドローン撮影)

2022年4月30(土)建築と子供たち Vol.14 ワークショップが開催されました。前日も翌日も曇天だったにも関わらず天候に恵まれ、受付で名簿の記入と検温を行い、コロナ対策としてアルコール除菌やマスクの着用を徹底して行いました。

木材でネックレスを作成し、子供が名前を書いてデコレーションを行う名札作りや、竹を使ったマイ食器づくりを行い、お昼は手作りした竹のお皿とお箸でカレーやお惣菜を頂きました。

大自然の中で、自分たちで手作りした食器で食べるお昼ごはんは、とても美味しくゴミも少なく、サステナブルで贅沢なひと時を体験する事が出来ました。



写真 2. 名札づくりの様子

また、竪穴式住居にも興味津々。子供たちは上から見下ろしたり、下から見上げたり、様々な視点から観察していました。

シャボン玉も、ロープを使って作るのは初めてで、子供たちはもちろん、大人の私たちも子供心を思い出して楽しめるような空間でした。

ゴミ拾いも、ゲームのような感覚で楽しめるように女性委員会の方たちに盛り上げて頂き、「ぼくはこんなに袋につめたよ」「もっと押し込めば、もっと入るよ」等と言いながら、協力し合って一生懸命に活動していました。



写真3. シャボン玉づくりの様子

また、コロナ禍で自宅で過ごす事が多い子供たちが、ワークショップを通してものづくりの楽しさを体験したり、外に出て風を感じ、土に触れたり木に触れたり、五感で感じて楽しむ体験はとても価値のあるものだと感じました。

女性委員会ははじめ、建築士会の皆様が温かく、とても素晴らしい体験をさせて頂きました。ありがとうございました。





ツリーハウス診断・修理



マイ食器作成



昼食準備の様子



竪穴式住居の勉強

竪穴式住居の観察

編集後記

表紙写真は2年8か月ぶりに開催された建築と子供たちのワークショップでの集合写真です。安全に配慮して大人数での開催に尽力いただいた会員の皆様、本当にお疲れ様でした。

かわら版掲載用に写真をお願いしたところ、君津支部青年委員長の田村啓さんをはじめ、出席した方々が撮影した写真や動画をなんと550枚以上も！たくさん提供してくださいました。ご協力いただきありがとうございました。

中にはドローンを使って撮影した映像もあり、空からの画角なので自然豊かな君津の森とワークショップで製作した建物が大迫力で映されていました。他にも参加者の楽しそうな様子やエネルギーが伝わってくる素晴らしい写真ばかりでした。選り抜きましたので寄稿記事と合わせてぜひご覧ください。

広報委員 白鳥 結紀

かわら版はご投稿いただいた皆様のお陰で何とか発行することが出来ました。ご協力ありがとうございました。

かわら版についてのご意見、ご希望がありましたら下記アドレスまでお寄せください。お待ちしております。

アドレス：emiko-daishima@hb.tp1.jp

広報委員長 代島 恵美子

事務局

〒293-0001

千葉県富津市大堀1335番地

TEL・・・090-6103-7185

FAX・・・0439-29-7272

E-mail・・・chibakenchiku@sikaikimitu.parallel.jp

